

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター健康増進センターでは、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。双葉郡の 6 町村における食習慣調査と健診結果情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 8 月

福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター健康増進センター長 島袋充生

■ 研究課題名

相双地域の食習慣の実態とメタボリックシンドロームとの関連性に関する研究

■ 研究期間

2026 年 9 月 ～ 2030 年 3 月

■ 研究の目的・意義

福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター健康増進センター（以下「健康増進センター」という。）では、福島県からの委託事業により、令和 3 年度から令和 7 年度まで被災地域 10 市町村（南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯館村）を対象に健康課題解決に向けた事業内容の具体的な提案、展開支援及び健康づくり関係職員の資質向上のための支援事業を継続して実施してきました。

福島県は東日本大震災以降、県民の生活習慣が大きく変化する等により、メタボリックシンドローム該当者の割合（全国ワースト 4 位（2022 年度特定健診データ））等、各種健康指標が悪化し、生活習慣病につながる県民の健康指標改善が喫緊の課題となっています。

特に、相双地域においては、避難の長期化に伴う生活環境の変化、住民の広域分散により地域づくり型の保健活動の実施が難しく、メタボリックシンドローム該当者の割合が全国や福島県全体と比較して継続して高い傾向にある等、健康指標の低迷が続いているが、食事量や内容等の食習慣の実態等の要因については把握できていない状況にあります。

そこで、健康増進センターでは県からの委託事業である「被災地域の健康課題解決支援事業」の中で、個人のメタボリックシンドロームにつながる食行動や食事量・内容等を明らかにし、個人の食事摂取の課題に合わせた具体的な栄養指導を行うことでメタボリックシンドローム該当者の改善を目指すために、双葉郡の 6 町村（広野町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村）を対象に、令和 7 年度に「簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）」を活用した食習慣実態調査を実施したところです。その BDHQ 調査の結果と各町村で実施した健診結果を分析し、メタボリックシンドローム該当者に対して、メタボリックシンドロームと関連のある食行動等を明らかにし、効果的な特定保健指導（栄養指導）等の実施につなげることにより、メタボリックシ

ドローーム該当者の減少と今後の各町村の健康施策の推進に役立てることを目的とします。

■ 研究対象となる方

本研究では、双葉郡 6 町村（広野町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村）において、令和 7 年度の国民健康保険特定健康診査の対象者（40 歳から 74 歳まで）であり、特定健康診査受診時に簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）にご回答いただいた方を対象としています。

■ 研究の方法

令和 7 年度に国民健康保険の特定健診対象者（40 歳～74 歳）に対し、対象 6 町村が特定健診通知と併せて質問票（簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ））を送付し、健診当日に質問票の記入漏れの有無を確認しながら回収しました。対象 6 町村が回収した質問票は、健康増進センターから（株）ジェンダーメディカルリサーチ DHQ サポートセンターに送付して結果の集計・分析を依頼し、（株）ジェンダーメディカルリサーチ DHQ サポートセンターから健康増進センターに集計・分析結果が返信され、健康増進センターから対象 6 町村へ質問票の個別結果を送付しました。

本研究では、令和 7 年度に実施した「簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）」を活用した対象 6 町村の食事調査（BDHQ 調査）の結果の個人情報と、令和 8 年度に対象 6 町村から提出のあった各個人の特定健診結果情報により、情報を紐づけした後に個人情報を削除した上で、各個人の食事量や内容等の食習慣の実態とメタボリックシンドローム（肥満、高血圧、脂質異常、高血糖）との関連性について分析を行います。

本研究の結果は、福島県に報告し、対象 6 町村及び研究対象者を含む県民に向けて情報を公開するとともに、各自治体が行うメタボリックシンドローム該当者の改善のための効果的な特定保健指導（栄養指導）等につなげます。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 9 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター健康増進センターであり、研究責任者はセンター長 島袋充生です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学理事長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター健康増進センターで利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

令和 7 年度に収集された質問票は、集計・分析のため委託先である（株）ジェンダーメディカ

ルリサーチ DHQ サポートセンター（代表取締役 宮原富士子）へ提供し、集計・分析結果が健康増進センターに返信されています。

本研究は、令和 7 年度の BDHQ 調査の結果の個人情報と特定健診結果情報を紐づけて、個人情報を削除した上で分析するものであり、他の機関などへの情報の提供は行いません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター健康増進センター

担当 大平哲也

電話:024-547-1788 FAX: 024-547-1789

E-mail: bdhqfmu1@fmu.ac.jp